



2021年7月14日

各 位

会社名 日本光電工業株式会社  
 代表者名 代表取締役社長執行役員 荻野 博一  
 (コード番号 6849 東証第1部)  
 問合せ先 経営戦略統括部長 吉澤 慶一郎  
 (TEL. 03 - 5996 - 8003 )

## 2022年3月期第1四半期の連結業績見通しに関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2022年3月期第1四半期(2021年4月1日～2021年6月30日)の連結業績につきまして、前年同期実績と比較して差異が生じる見込みとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2022年3月期第1四半期の連結業績見通しおよび前年同期実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前年同期実績 (A) (2021年3月期第1四半期)	38,461	1,831	1,581	1,060	12.46
当期実績見通し (B) (2022年3月期第1四半期)	46,500	6,000	6,000	4,000	47.23
増減額 (B-A)	8,039	4,169	4,419	2,940	
増減率 (%)	20.9	227.7	279.5	277.4	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	199,727	27,094	28,374	18,243	214.21

#### 2. 差異が生じた理由

当第1四半期連結累計期間の売上高につきましては、国内、海外ともに、前年同期実績を大きく上回る見込みとなりました。新型コロナウイルスの感染拡大により検査・手術件数が減少した前年同期に比べ、生体計測機器など一部製品の需要が回復しました。また、国内では、補正予算を背景とした医療提供体制の整備が継続し、生体情報モニタが好調に推移しました。海外においても、米国での大口商談の受注、インド、中南米での感染再拡大による需要増により、生体情報モニタが好調に推移しました。

利益につきましても、増収効果に加え、売上総利益率の改善により、前年同期実績を大きく上回る見込みとなりました。

なお、本年5月13日に発表しました第2四半期連結累計期間および通期の業績予想につきましては、現在精査中であり、第1四半期決算発表時(2021年8月4日予定)に公表いたします。

※ 上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって記載の予想数値と異なる場合があります。

以上